

安倍晋三元首相の「国葬」に対する東北大学の対応について（声明）

2022年9月5日

東北大学職員組合執行委員会

2022年9月27日に行われる安倍晋三元首相の「国葬」に合わせ、文部科学相は「自治体や教育委員会に弔意表明を要望しない」と表明した（2022年8月30日）。しかし、岸田首相は「府省庁で弔旗の掲揚や黙とうを実施する」ことを明らかにした（2022年8月31日）。東北大学はまだ対応方針を示していないが、2020年の「故中曽根康弘」内閣・自由民主党合同葬の際には、内閣官房長官からの弔意表明依命通知に従い、半旗を掲揚し弔意を表した。

東北大学は、政府からの要請の有無にかかわらず、国公立の教育機関として、個々人の思想・良心の自由を尊重することを内外に示すためにも、教職員や院生学生の行動を制約したり、大学としての弔意を表す行為を行うべきではない。最高学府として毅然とした姿勢が望まれる。

私達職員組合は、東北大学が構成員に種々の行動要請や制約を行わないよう、弔旗掲揚等の弔意表明を行わないよう、東北大学当局に要求するものである。